
ハッピーバースデー

杏野丞

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハッピーバースデー

【Nコード】

N2893G

【作者名】

杏野丞

【あらすじ】

誕生日の夜、姉は唐突に帰って来た。酔っ払って眠る彼女と、隣のわたし——。ある家族の一時を綴ったショートショート。

密やかな息遣いは静かな冬の夜空へ沈んで行く。私の息は白い。布団から片足突き出して眠っている姉の息も白い。

彼女の息の方がちょっと白さが濃いようだ。眠っている人は呼吸が深いからかも知れないと思いながら、私は開け放していた窓を閉めた。朝日で目覚めるのが好きな姉のために、カーテンだけは開けておく。

——冬でもカーテン開けっぱじゃ寒くないだろうか。朝とか特にそんな家族の心配なんかお構い無く、姉は年がら年中呆れるほどの健康体だ。

星の见えない二十六時の暗闇。雲はない。ただ、夜空に星を映すには、この街は明るすぎる。

誕生日だからって飲み過ぎたわと、明らかにロレツの回っていない姉が久しぶりに実家に帰って来たのは一時間ほど前だった。

『ねえミツコお聞いてよ部署のみんなからさあ奢って貰っちゃってしかもね、ホラ、こおんなおっきいプレゼントまで貰っちゃった。

でもねヒドイのよ見てこれこんなにデカイ包みのクセにさあ、中に詰めてるのウマイ棒よウマイ棒。

中学生かってえの。ホントもうウケたウケた。うん、あたしいい同僚持ったわホントに。もう、ホント最高！』

酔っぱらいは唐突に叫ぶからびっくりする。と言うより、どちらかと言えば最近は性格も素行も落ち着いてきた筈の姉が叫んでる事にびっくりした。

クダを巻く彼女をなだめすかし水を飲ませベッドに落ち着けたところで、どこぞに隠れていた父がそつと様子を見に来た。

「……寝たのか」

大人しくなつたのを見計らつて来てるんだからそれくらい分かるでしょうが。私は振り返らずにそうだよと答えた。

「誕生日に、飲んで帰ってくるのは久しぶりだな」

「そうだったけ？」

「そうだ……誕生日に帰って来るのも、久しぶりだ」
父の口調はちよっぴりふて腐れた感じだった。

そう言えば確かに、姉がこんなに飲んだくれて帰って来たのは久しぶりだ。だいぶ前だったら休み毎にバカみたいに飲み歩いて、母が癪癪起こす事もあったけれど。

最近の落ち着きは曲がりなりにも年をくつたからか、単に体力の衰えと言う可能性もある。

「お姉ちゃん、今年でいくつだったけ」

「二十八だ」

「あー、みんな年取ったねえ」

ダイナミックに突き出た姉の片足を布団の中に押し込みながら、ふと思い出す。

そうだ。

今年はタカナシさんと別れたから、アパートじゃなくて真っ直ぐ帰って来たんだ、実家に。

「やっぱり寂しかったのかなあ」

「何が」

「ほら、彼氏と別れたから」

父は一瞬口をぱかっと開けて、すぐに真一文字にそれを閉じた。
「こんな、三十手前にもなつて飲んだくれて帰って来るんだ。嫁に貰ってもらえなくて当然だ」

——微妙な表情は、姉だけが悪いとは言ってるように見えないけど。

男親は娘の男が気に食わない、と言うのはどうやら本当みたいだと、私はその時初めて知った。

「まあ、でも変な男に引つ掛かるよりはいいでしょ」
笑つてずり落ちかけた布団をかけ直す。

父は深い溜め息を吐いた。

「急いで、結婚なんか考えるなよ。ちゃんと探せ」

「はいはい」

カーテンの閉まつていない窓を見ても、父は何も言わずに部屋から出ていった。そう言えば、父もこの癖を知っていたっけ。

静かな部屋に暖房を入れる。白い息はすぐに出なくなるだろう。
「おめでとう……って、お父さん言いたかったんだろっね、多分」

呑気な寝息を立てる姉の額をペタペタと叩く。うーんと唸って姉は布団の中に頭から潜り込んだ。

取り敢えず、さ。

「誕生日じゃなくてもたまには帰って来なよね……おめでと」

ね、お姉ちゃん。

ハッピーバースデー。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2893g/>

ハッピーバースデー

2011年1月27日14時44分発行